

極樂浄土の世界

～プロジェクションマッピング内容解説～

※プロジェクションマッピングは、お堂の左右の壁及び天井に流れます。

※左右の映像は同じ映像が流れます。

お堂内で流れるプロジェクションマッピングは、この白水阿弥陀堂より皆様の魂を鳳凰に乗せ十万億土という途方もない距離を、暗闇の向こうの阿弥陀如来様のおられる西方極樂浄土まで向かい、その世界を一望し、現世へ戻ってくるという道のりを表現したものとなります。

極樂浄土と呼ばれる世界は、常春（とこはる）という常に春の陽気のような場所であり、昼も夜もなく永遠に輝く世界です。空には鳳凰が飛び天女がプロジェクションマッピングで流れるような音楽を奏で、舞を舞っています。

その中心には、宝楼阁（ほうろうかく）という金銀財宝で飾られた阿弥陀如来様が住む場所があります。

この白水阿弥陀堂を発願(人々を救うため、お堂を建立する心を起こすこと)したとされる徳姫は、中尊寺金色堂を発願された奥州藤原清衡公の娘であると伝わっております。平泉からこの地へ嫁いで来られ、夫である岩城氏の亡くなられた後に、極樂浄土の世界を理想に思い描き、この阿弥陀堂を作られたと伝わっております。

阿弥陀如来様は、皆様の願いや苦しみを聞き救ってくださる仏様と言われております。

プロジェクションマッピングをご覧いただくことで、皆様の心が少しでも軽くなっていただければ幸いです。